

2023年3月期 第3四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社
2023年2月3日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

Copyright © 2022 Ushio Inc., All Rights Reserved

未来は光でおもしろくなる

USHIO



1. 2022年度 3Q実績は **増収増益**
2. 2022年度 通期業績予想を **下方修正**

I. 2022年度 3Q業績概要

II. 2022年度 今後の見通し

III. 参考資料

3Q決算発表のサマリー

売上高

3Q実績
1,283億円

前年同期比：186億円増 (+17.0%)

円安による増収効果
需要増による増収（光学装置_UV装置）
新型コロナ影響からの回復（映像装置_一般映像）

営業利益

3Q実績
135億円

前年同期比：27億円増 (+25.2%)

増収による増益（為替影響含む）
構造改革等による固定費抑制効果

親会社株主に帰属する
四半期純利益

3Q実績
120億円

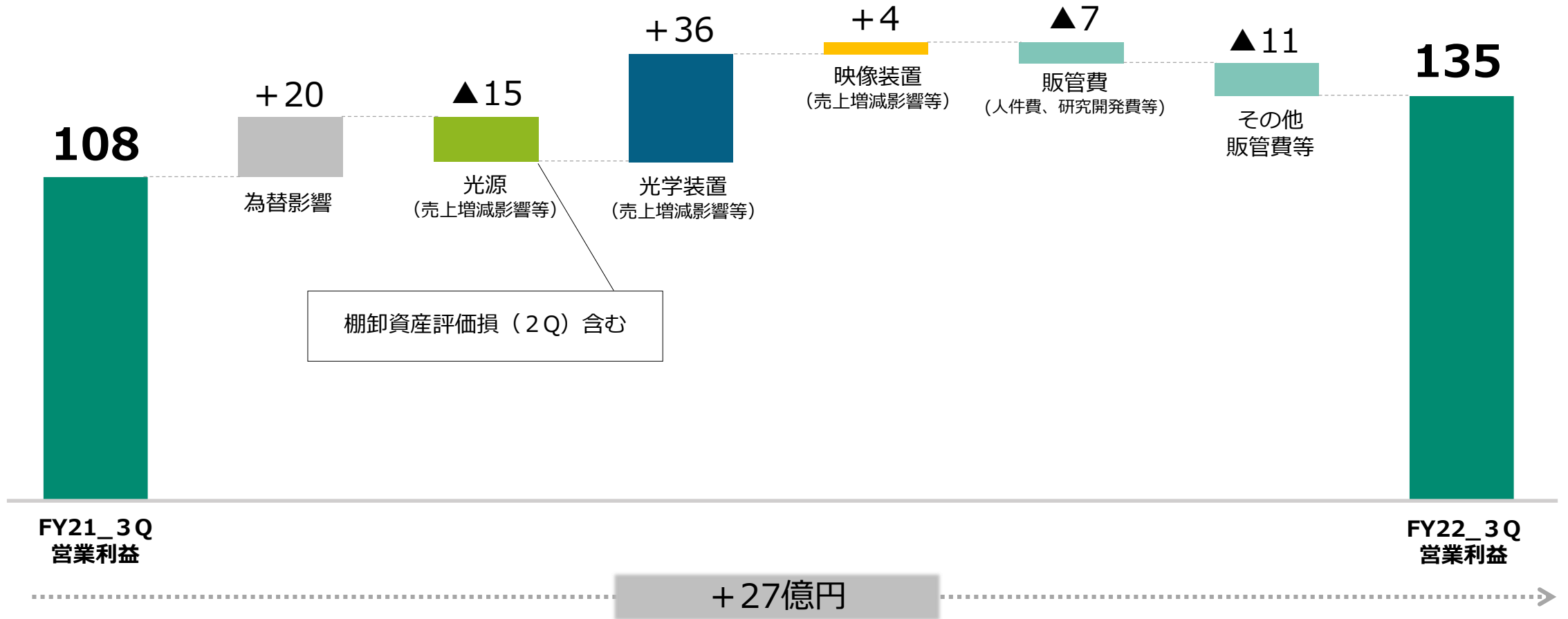
前年同期比：18億円増 (+18.6%)

【営業外収支】	為替差損益	25億円（2021年度：0億円）
【特別利益】	固定資産売却益	1億円（2021年度：11億円）

	(億円)	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		1,097	1,283	+186	+17.0%
営業利益		108	135	+27	+25.2%
営業利益率		9.9%	10.5%	+0.7P	-
経常利益		125	180	+54	+43.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		101	120	+18	+18.6%
EPS (円)		84.48	101.81	+17.33	+20.5%
為替レート (円)	USD	111	136	+25	-
	EUR	131	140	+9	-

前年同期比 営業利益増減分析

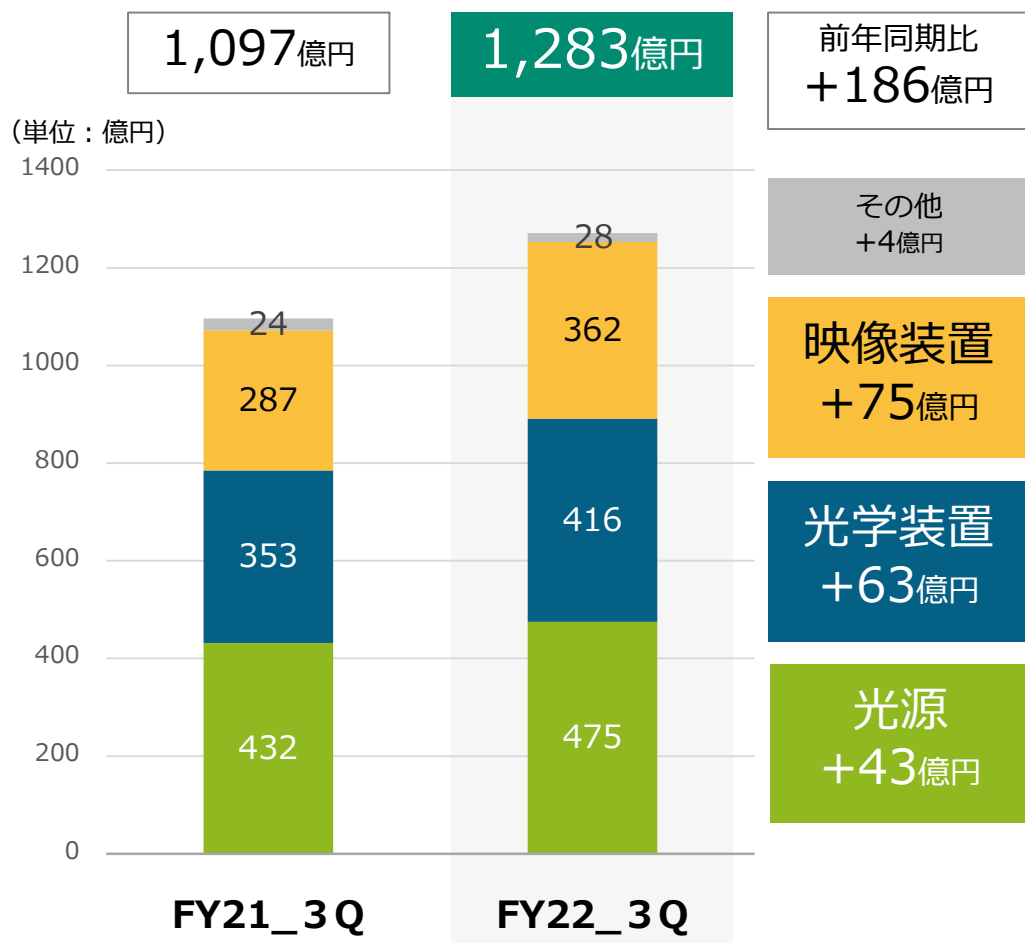
単位：億円



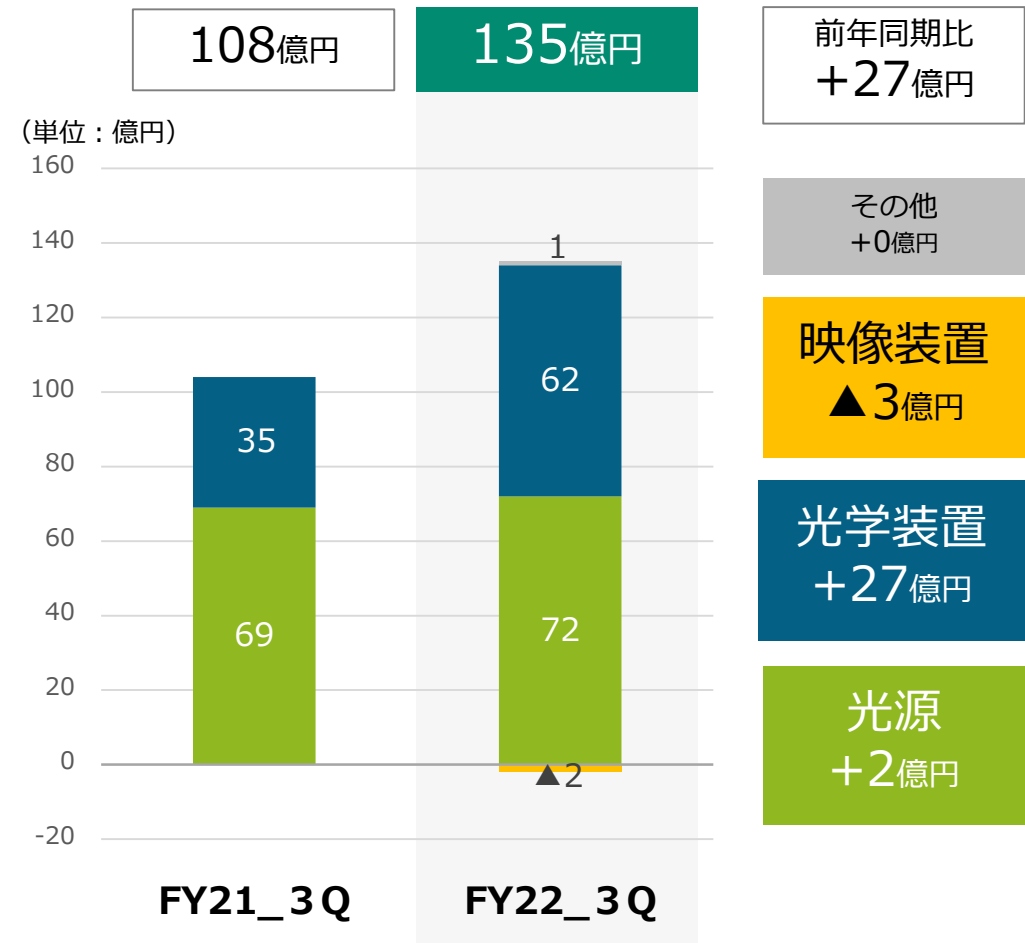
注：「光源（売上増減影響等）」～「その他販管費等」は、「為替影響」を除いた金額

セグメント別 売上高、営業利益

売上高



営業利益



共通

世界的な半導体等の部材不足による影響が、一部事業で継続
部材コスト上昇、エネルギー価格及び物流費高騰の影響が、一部事業で発生

エレクトロニクス
分野

半導体は中長期では成長も足元は調整の動きあり 液晶は稼働調整局面へ

- FPD市場は、液晶の巣ごもり需要一巡及び在庫調整により稼働調整局面へ
- 半導体市場は、IoTや5G等の進展で中長期の成長を見込むも、足元は最終需要減速により一部調整の動き
- 最先端ICパッケージ市場は、IoT等の進展でデータセンター需要増の傾向は継続 高速化・低消費電力化等のニーズに対し技術革新の必要性もあり需要は堅調

ビジュアル
イメージング
分野

新型コロナウイルス感染症から各国の経済活動再開により市場は回復

- シネマ市場は、映画館の稼働が中国を除き回復 ただし設備投資の本回復は2023年度以降を見込む
中国市場のみゼロコロナ政策により稼働低調も、ウィズコロナへの政策転換により回復のきざし
- 一般映像市場は、イベント等の規制解除や再開により投資が回復
- OA機器市場は、新型コロナ影響から需要は回復 セットメーカーでの部材不足による影響も緩和

(億円)	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	432	475	+43	+10.0%
放電ランプ	289	301	+11	+3.9%
ハロゲンランプ	77	100	+23	+29.8%
固体光源	64	73	+8	+13.8%
営業利益	69	72	+2	+3.6%
営業利益率	16.2%	15.2%	▲1.0P	-

放電ランプ 売上高増減の主な内訳 (前年同期比)

- ・ **UVランプ (▲4億円、▲4%)**
半導体・電子デバイスは販売が増加も、液晶パネルは需要一巡で販売が減少
- ・ **シネマ用ランプ (+19億円、+36%)**
新型コロナ影響から映画館の稼働が回復し販売が増加 為替により増収
- ・ **データプロジェクター用ランプ (+10億円、+37%)**
イベントなどの回復によりハイエンドプロジェクター向け販売が増加
- ・ **光学機器用ランプ (+2億円、+5%)**
液晶パネル向けの販売が減少も、為替により増収
- ・ **その他 (▲17億円、▲47%)**
ナトリウムランプが固体光源化の影響により販売が減少

ハロゲンランプ 売上高増減の主な内訳 (前年同期比)

- ・ **OA用ランプ (+13億円、+42%)**
セットメーカーの部材不足影響が緩和し、販売が増加
- ・ **その他 (+8億円、+27%)**
半導体需要増に伴い、主に半導体向け熱処理用ランプの販売が増加

固体光源 売上高増減の主な内訳 (前年同期比)

- ・ **固体光源 (+8億円、+14%)**
エンタメ、センシング関連需要が回復し販売が増加 為替により増収

光学装置

(億円)	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	353	416	+63	+17.9%
営業利益	35	62	+27	+78.4%
営業利益率	10.0%	15.1%	+5.1P	-

映像装置

(億円)	2021年度 3Q実績	2022年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	287	362	+75	+26.3%
営業利益	0	▲2	▲3	-
営業利益率	0.3%	▲0.7%	▲1.0P	-

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- UV装置（+82億円、+41%）**
 最先端ICパッケージ基板向けの投影露光及びダイレクトイメージング露光装置の販売が増加
- キュア装置（▲21億円、▲51%）**
 液晶パネル需要一巡で設備投資が縮小し、関連装置の販売が減少
- その他（+2億円、+2%）**
 EUVは光源本体の販売が減少も、メンテナンスは増加

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- シネマ（+10億円、+8%）**
 為替により増収、DCPの販売は、部材調達影響により減少
- 一般映像（+58億円、+42%）**
 北米市場を中心にイベント等の回復により関連装置の販売が増加

-
- I. 2022年度 3Q業績概要
 - II. 2022年度 今後の見通し
 - III. 参考資料

2022年度 通期業績予想

半導体市況の悪化や中国ゼロコロナ政策の長期化、部材価格の高騰による影響により下方修正

(億円)	2022年度 通期予想 修正			2022年度	進捗率*	2021年度	修正値との 差異	増減率	
	今回	前回 2022.11.2	差異	3 Q		通期			
売上高	1,700	1,700	-	1,283	75.5%	1,488	+211	+14.2%	
営業利益	150	170	▲20	135	90.2%	130	+19	+14.8%	
営業利益率 (%)	8.8%	10.0%	▲1.2P	10.5%	-	8.8%	+0.0P	-	
経常利益	195	185	+10	180	92.5%	151	+43	+28.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	140	▲10	120	92.9%	126	+3	+3.1%	
EPS (円)	109.78	117.79	▲8.01	101.81	92.7%	104.54	+5.24	+5.0%	
ROE (%)	5.5	5.9	▲0.4P	5.1	-	5.7	▲0.2	-	
年間配当 (円)	50	50	-	50	-	50	-	-	
為替レート (円)	USD	133*	126	+7	136	-	112	+21	-
	EUR	139*	134	+5	140	-	131	+8	-

為替感応度：
1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約8億円	約1.0億円

* 4 Q以降の為替レート前提 USD：130円、EUR：140円

* 今回修正後の通期予想に対する進捗率

セグメント別 売上高、営業利益 通期業績予想 修正内容

(億円)		今回	前回修正値 2022.11.2	差異	修正理由
光源	売上高	590	630	▲40	<ul style="list-style-type: none"> ・ナトリウムランプの棚卸資産評価損計上（2Q） ・半導体市況の悪化（UVランプ） ・中国ゼロコロナ政策の長期化（シネマ用ランプ）
	営業利益	77	98	▲21	
	営業利益率	13.1%	15.6%	▲2.5 P	
光学装置	売上高	560	550	+10	<ul style="list-style-type: none"> ・保守メンテナンス機会の増加 ・コスト抑制
	営業利益	80	70	+10	
	営業利益率	14.3%	12.7%	+1.6P	
映像装置	売上高	510	480	+30	<ul style="list-style-type: none"> ・部材不足問題に伴う部材価格の高騰
	営業利益	▲9	0	▲9	
	営業利益率	▲1.8%	0.0%	▲1.8P	
その他	売上高	40	40	-	
	営業利益	2	2	-	
	営業利益率	5.0%	5.0%	-	
連結合計	売上高	1,700	1,700	-	
	営業利益	150	170	▲20	
	営業利益率	8.8%	10.0%	▲1.2 P	

セグメント別 売上高、営業利益 通期業績予想

	(億円)	2021年度 通期実績	2022年度				
			3Q実績	通期予想 (修正後)	前期比		3Q 進捗率
					増減額	増減率	
光源	売上高	578	475	590	+11	+2.1%	80.6%
	営業利益	82	72	77	▲5	▲7.1%	94.1%
	営業利益率	14.3%	15.2%	13.1%	▲1.3P	-	-
光学装置	売上高	483	416	560	+76	+15.7%	74.3%
	営業利益	46	62	80	+33	+73.2%	78.6%
	営業利益率	9.5%	15.1%	14.3%	+4.7P	-	-
映像装置	売上高	391	362	510	+118	+30.2%	71.1%
	営業利益	▲0	▲2	▲9	▲8	-	-
	営業利益率	▲0.1%	▲0.7%	▲1.8%	▲1.6P	-	-
その他	売上高	34	28	40	+5	+15.9%	72.4%
	営業利益	1	1	2	+0	+77.6%	69.4%
	営業利益率	3.3%	4.8%	5.0%	+1.7P	-	-
連結合計	売上高	1,488	1,283	1,700	+211	+14.2%	75.5%
	営業利益	130	135	150	+19	+14.8%	90.2%
	営業利益率	8.8%	10.5%	8.8%	+0.0P	-	-

4Q 事業環境想定

光源

- ・UVランプ
液晶パネル向け及び半導体向けともに調整局面が継続し低調
- ・シネマ用ランプ
中国でウィズコロナへ政策転換も、需要回復は来期を見込む
- ・OA用、データプロジェクター用ランプ
中国旧正月で生産稼働が低下
- ・為替は3Qまでの円安傾向から円高へ

光学装置

- ・最先端IC：売上が上期偏重により、一時的に販売が減少
- ・DI露光：期末に向け売上が増加
- ・EUV光源：メンテナンス堅調も、光源本体販売は低調

映像装置

- ・シネマ
部材不足は緩和傾向でDCP販売は増加も、部品コストが高騰
- ・一般映像
イベントは回復傾向 部材不足緩和でハイエンド機種販売増も
部品コストは高騰

項目	最新の状況
UVランプ	<ul style="list-style-type: none"> 半導体：足元は、メモリ・ロジックを中心とした需給調整により3Q以降ランプ需要が減少 中長期には成長拡大を見込む FPD：液晶の巣ごもり需要が一巡し、各パネルメーカーによる生産稼働の調整影響により、ランプ需要が2Q以降段階的に減少 中長期的には有機ELへの移行に伴う設備投資増加を見込む
シネマ用ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 中国を除くシネマ市場は前年比回復傾向。中国は3Qまでゼロコロナ政策の影響により稼働低調も、ウィズコロナへの政策転換により海外コンテンツのリリースも再開され、徐々に稼働改善の見込み 参考指標 世界平均スクリーン稼働率×上映回転率 3Q時点：7割強 → 4Q予想：8割
Care222	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全意識の高い医療施設や介護施設等を中心に販売活動を継続 中長期の持続的成長拡大に向け戦略見直し → 対象マーケットを見定め、認知度不足解消、紫外線に対する安全性の理解浸透対策強化及び各種規制緩和などの課題に対する取り組みを継続 <div style="float: right; text-align: right;"> <p>売上高推移（見込）</p> <p>最新見通し ~10億円</p> <p>FY20 FY21 FY22 見通し</p> </div>

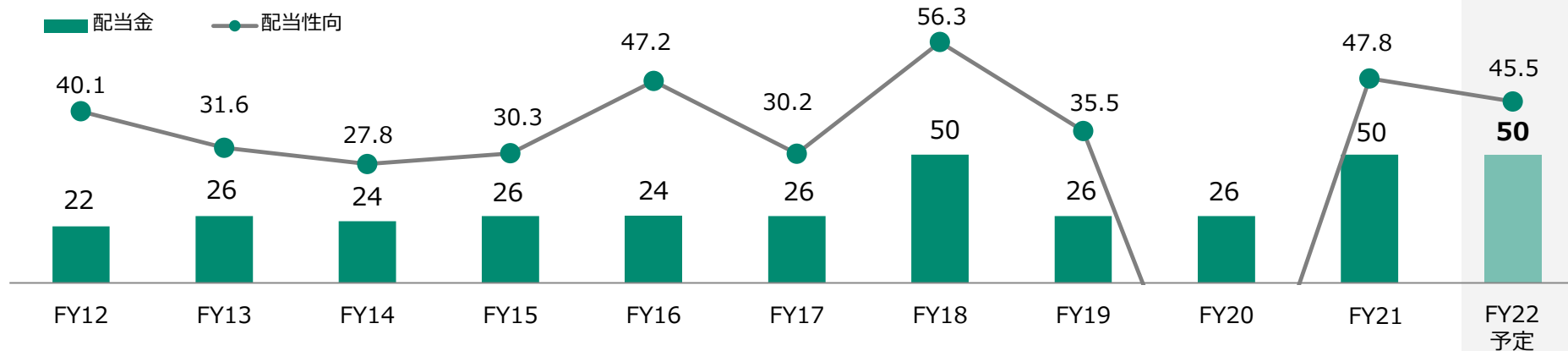
項目	最新の状況	売上高推移（見込）																								
<p>最先端IC パッケージ基板向け 投影露光装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICパッケージ市場の成長継続により受注・引き合いは堅調。生産能力を段階的に増強 → 2022年度下期:1.3倍以上 → 2023年度:更に2倍以上へ 次世代露光機へ開発投資（高生産性×微細化） 	<table border="1"> <caption>売上高推移（見込）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>売上高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY18 実績</td> <td>低</td> </tr> <tr> <td>FY19 実績</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>FY20 実績</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>FY21 実績</td> <td>中高</td> </tr> <tr> <td>FY22 見通し</td> <td>最高</td> </tr> </tbody> </table>	年度	売上高	FY18 実績	低	FY19 実績	中	FY20 実績	高	FY21 実績	中高	FY22 見通し	最高												
年度	売上高																									
FY18 実績	低																									
FY19 実績	中																									
FY20 実績	高																									
FY21 実績	中高																									
FY22 見通し	最高																									
<p>ダイレクト イメージング 露光装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> IoT、5G等進展に伴いパッケージ・プリント基板市場成長継続 高解像力モデル(2 μmL/S)販売開始、2022年度より業績貢献 ターゲット：最先端ICパッケージ（Fan-out）、有機パッケージ基板市場等 	<table border="1"> <caption>売上高推移（見込）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>売上高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY18 実績</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>FY19 実績</td> <td>低</td> </tr> <tr> <td>FY20 実績</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>FY21 実績</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>FY22 見通し</td> <td>最高</td> </tr> </tbody> </table>	年度	売上高	FY18 実績	中	FY19 実績	低	FY20 実績	中	FY21 実績	高	FY22 見通し	最高												
年度	売上高																									
FY18 実績	中																									
FY19 実績	低																									
FY20 実績	中																									
FY21 実績	高																									
FY22 見通し	最高																									
<p>EUVリソグラフィ マスク検査用 EUV光源</p>	<ul style="list-style-type: none"> EUVマスク検査市場は着実に成長も、2022年度は調整局面 高輝度APMI*の本格採用は2024~25年度以降 保守メンテナンスは高稼働で推移 	<table border="1"> <caption>売上高推移（見込）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>メンテナンス</th> <th>本体</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY18 実績</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>FY19 実績</td> <td>低</td> <td>0</td> <td>低</td> </tr> <tr> <td>FY20 実績</td> <td>中</td> <td>0</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>FY21 実績</td> <td>高</td> <td>中</td> <td>最高</td> </tr> <tr> <td>FY22 見通し</td> <td>高</td> <td>中</td> <td>最高</td> </tr> </tbody> </table>	年度	メンテナンス	本体	合計	FY18 実績	0	0	0	FY19 実績	低	0	低	FY20 実績	中	0	中	FY21 実績	高	中	最高	FY22 見通し	高	中	最高
年度	メンテナンス	本体	合計																							
FY18 実績	0	0	0																							
FY19 実績	低	0	低																							
FY20 実績	中	0	中																							
FY21 実績	高	中	最高																							
FY22 見通し	高	中	最高																							

*APMI : Actinic Patterned Mask Defect Inspection（EUV光を使ったマスク欠陥検査装置）

1株当たり
期末配当額

【配当方針】 安定的な利益還元

2022年度は 50円/年 を予定

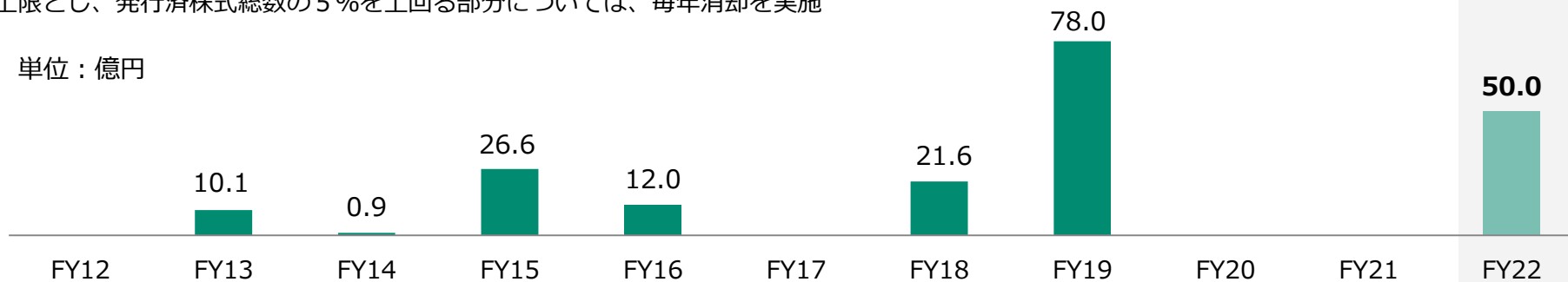


【自己株式取得の方針】

機動的に実施。なお、保有する自己株式は、発行済株式総数の5%を上限とし、発行済株式総数の5%を上回る部分については、毎年消却を実施

自社株式取得 2022年8月31日に取得終了
買付株式数：291.5万株 / 買付金額：50億円

単位：億円



自社株買い

I. 2022年度 3Q業績概要

II. 2022年度 今後の見通し

III. 参考資料

USHIO

次世代半導体量産用EUV光源

開発/生産/販売



(提供：TNO)



光源販売
メンテナンス

マスク検査装置メーカー
研究開発機関

半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大
ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへ EUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

■ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

長年積み重ねたEUV技術
(コンパクト/高輝度/高出力)

*極端紫外線露光システム開発機構

USHIO

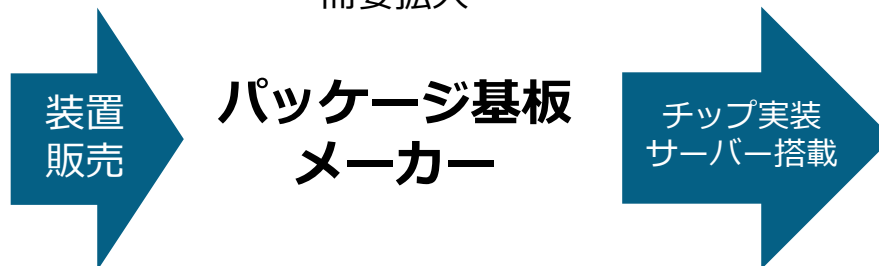
最先端ICパッケージ基板向け
分割投影露光装置 (UX-5)
製造、販売

■ 世界シェア：100%維持

ハイエンドBGA基板露光市場（自社調べ）



最先端・次世代パッケージ
需要拡大

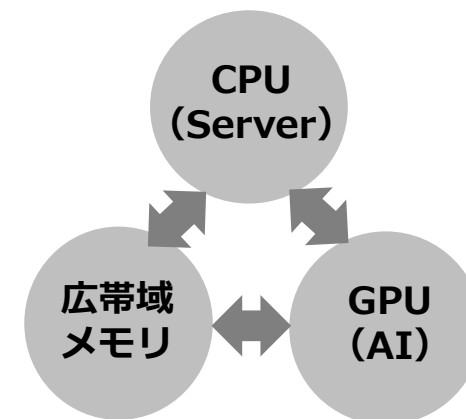


IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場：年率20%以上成長（自社調べ）
⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

■ ウシオの強み

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化、プロセスマージン





ダイレクトイメージング露光装置

開発・製造・販売

微細化対応

高生産性



装置販売

アプリケーションの革新に対応した
プリント配線板需要の増加

プリント配線板 パッケージ基板 メーカー

高密度化

多層化

基板搭載

消費電力対応
小型化対応

5G導入による
各種アプリケーションの革新と需要の増加

データセンター
基地局
需要増

スマートフォン
通信機器
需要増

車載
需要増

5Gサービス
世界各国で
開始・拡大

■ウシオの強み

高解像力(ハイエンド)
世界最速の高生産性(ミドルエンド)
+
顧客本位の保守サポート能力

■ 最先端半導体のFOパッケージ、有機パッケージ基板（先端BGA）などに向けた直描式露光装置を開発

リリース全文（2021年7月12日発表）：

<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2021-2021/500818.html>



抗ウイルス・除菌用紫外線技術「Care222[®]」

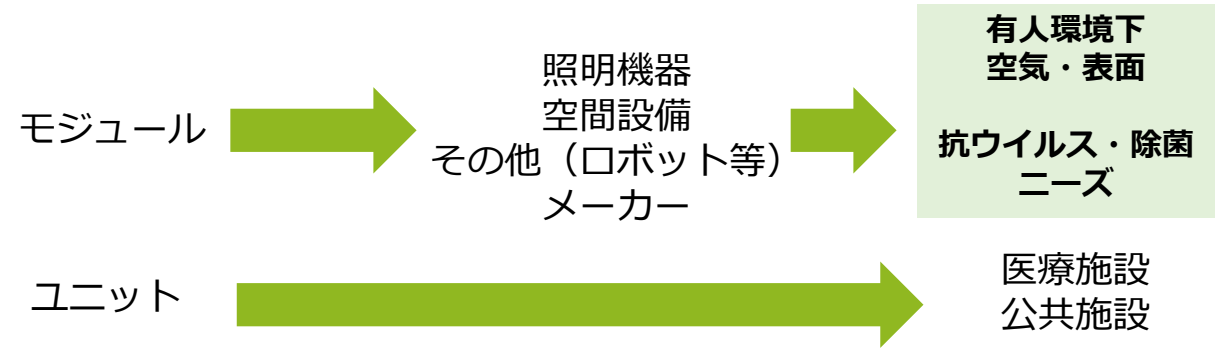


目指す姿：感染症の無い世界

有人環境下で空気・表面の抗ウイルス・除菌を行いたいというニーズ（安全・安心の提供）

■ウシオの強み

- ・紫外線除菌における独占ライセンス保有（コロンビア大学）
- ・空間形態に合わせた最適な照射プロセスの蓄積
- ・液晶・半導体業界で培った高品質のエキシマランプ・モジュール製造技術



取り組み	
STEP0	<ul style="list-style-type: none"> ・生産体制確立・製品展開 協業開発、ニーズに合わせたラインナップ拡充 ・認知度・ブランド価値向上 展示会・広告出稿、ブランドサイト、販売パートナーとの協業 ・効果のエビデンス拡充・紫外線に対する理解浸透 学会発表・臨床研究の推進継続 ACGIH*改訂を機に、IEC規格*の改訂及び各国の規格緩和の促進
STEP1	<ul style="list-style-type: none"> ・親和性の高い空間インフラ ⇒ MaaS市場/医療現場へ

*ACGIH：労働者の作業環境基準として薬品等の許容濃度（TLV）等のガイドラインを示す、アメリカ合衆国産業衛生専門家会議

*IEC規格：国際電気標準会議（International Electrotechnical Commission：IEC）

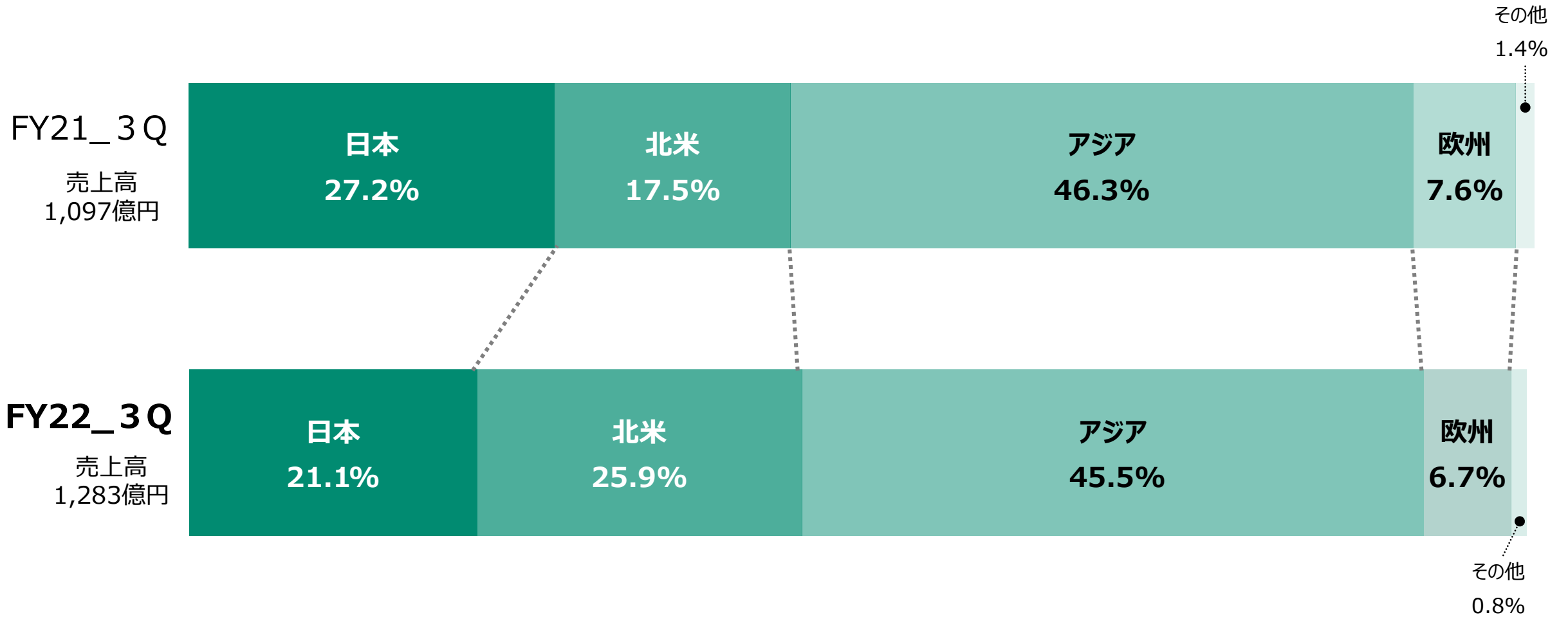
四半期推移《損益》

	2021年度				2022年度			前年同期比		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率	
(億円)										
売上高	349	366	381	391	397	482	404	+22	+6.0%	
営業利益	25	39	42	22	44	56	34	▲8	▲19.5%	
営業利益率	7.4%	10.9%	11.1%	5.8%	11.3%	11.7%	8.5%	▲2.7P	-	
経常利益	33	43	48	26	62	73	43	▲4	▲9.9%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33	31	36	24	38	56	25	▲11	▲30.3%	
EPS (円)	28.02	25.94	30.52	20.06	32.18	47.87	21.80	▲8.72	▲28.6%	
為替レート (円)	US D	110	110	113	115	126	137	144	+31	-
	EU R	132	130	130	129	137	140	144	+14	-

四半期推移《セグメント別損益》

		2021年度				2022年度			前年同期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率
光源	売上高	136	143	152	145	160	164	150	▲1	▲1.1%
	営業利益	19	25	24	12	31	20	21	▲3	▲14.4%
	営業利益率	14.3%	17.8%	16.3%	8.8%	19.4%	12.2%	14.1%	▲2.2P	-
光学装置	売上高	124	120	108	130	115	186	113	+5	+4.7%
	営業利益	10	13	10	10	10	34	17	+6	+56.7%
	営業利益率	8.7%	11.3%	10.1%	8.4%	9.4%	18.7%	15.1%	+5.0P	-
映像装置	売上高	82	94	111	104	113	119	129	+18	+16.7%
	営業利益	▲4	0	5	▲1	2	0	▲5	▲10	-
	営業利益率	▲5.8%	0.3%	4.9%	▲1.4%	2.2%	0.2%	▲3.9%	▲8.8P	-
その他	売上高	6	8	9	10	7	11	10	+0	+8.1%
	営業利益	▲0	0	0	0	0	0	0	▲0	▲22.5%
	営業利益率	▲0.2%	2.2%	7.8%	2.0%	1.5%	6.2%	5.6%	▲2.2P	-
連結合計	売上高	349	366	381	391	397	482	404	+22	+6.0%
	営業利益	25	39	42	22	44	56	34	▲8	▲19.5%
	営業利益率	7.4%	10.9%	11.1%	5.8%	11.3%	11.7%	8.5%	▲2.7P	-

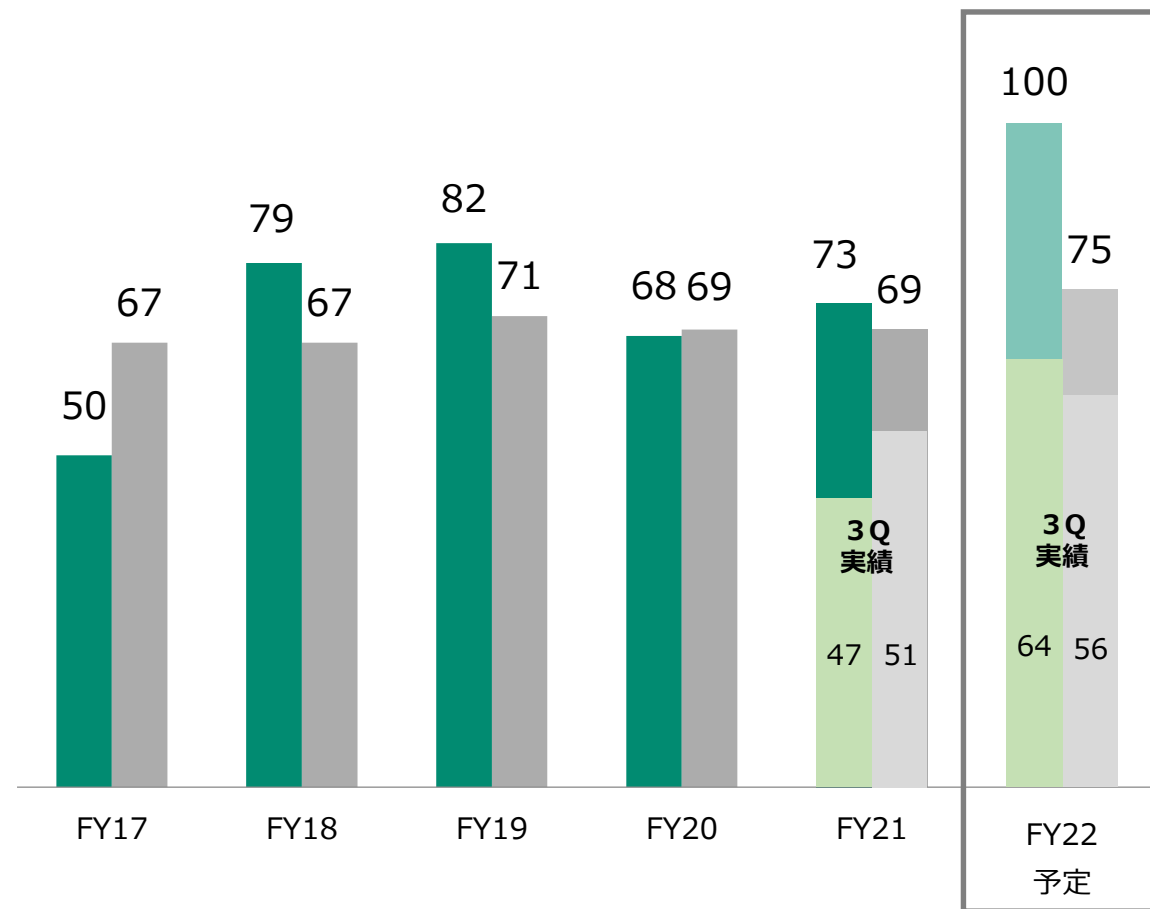
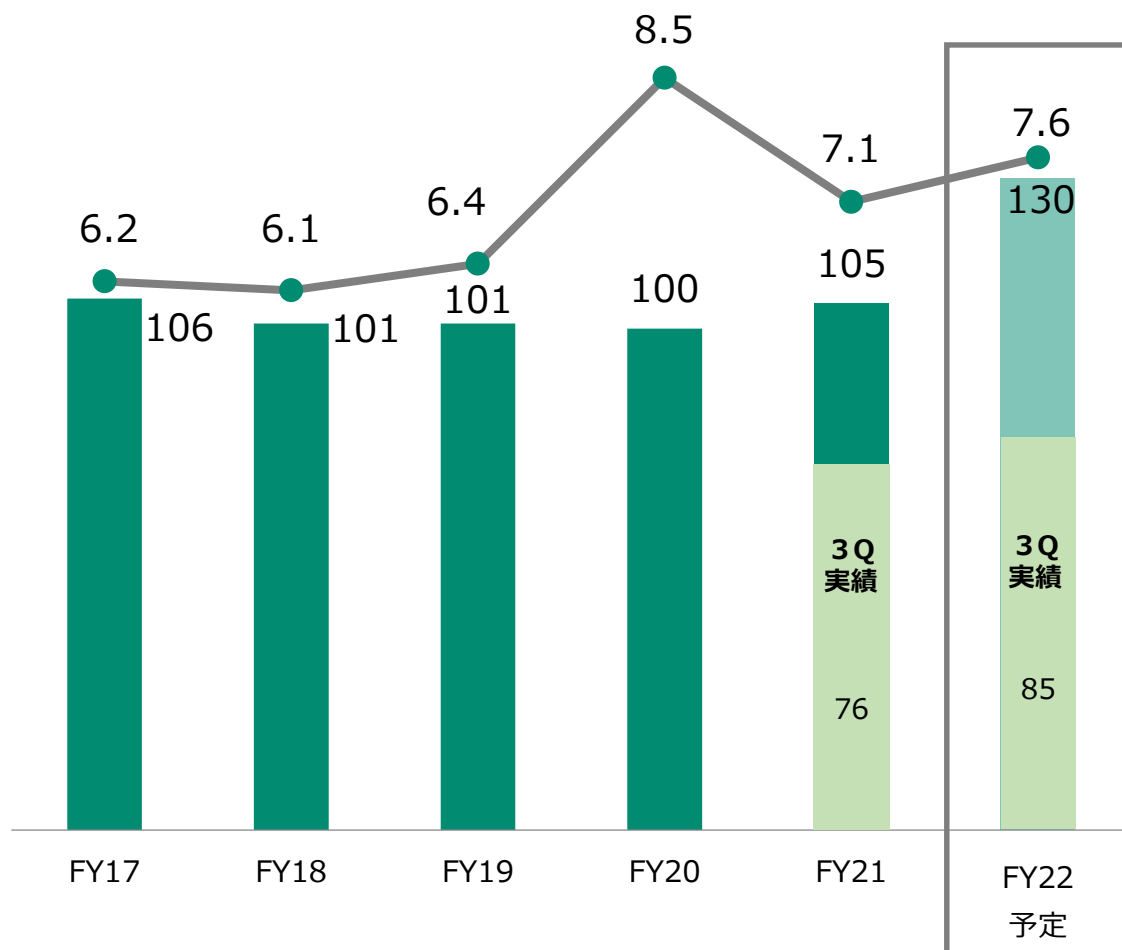
地域別売上高比率



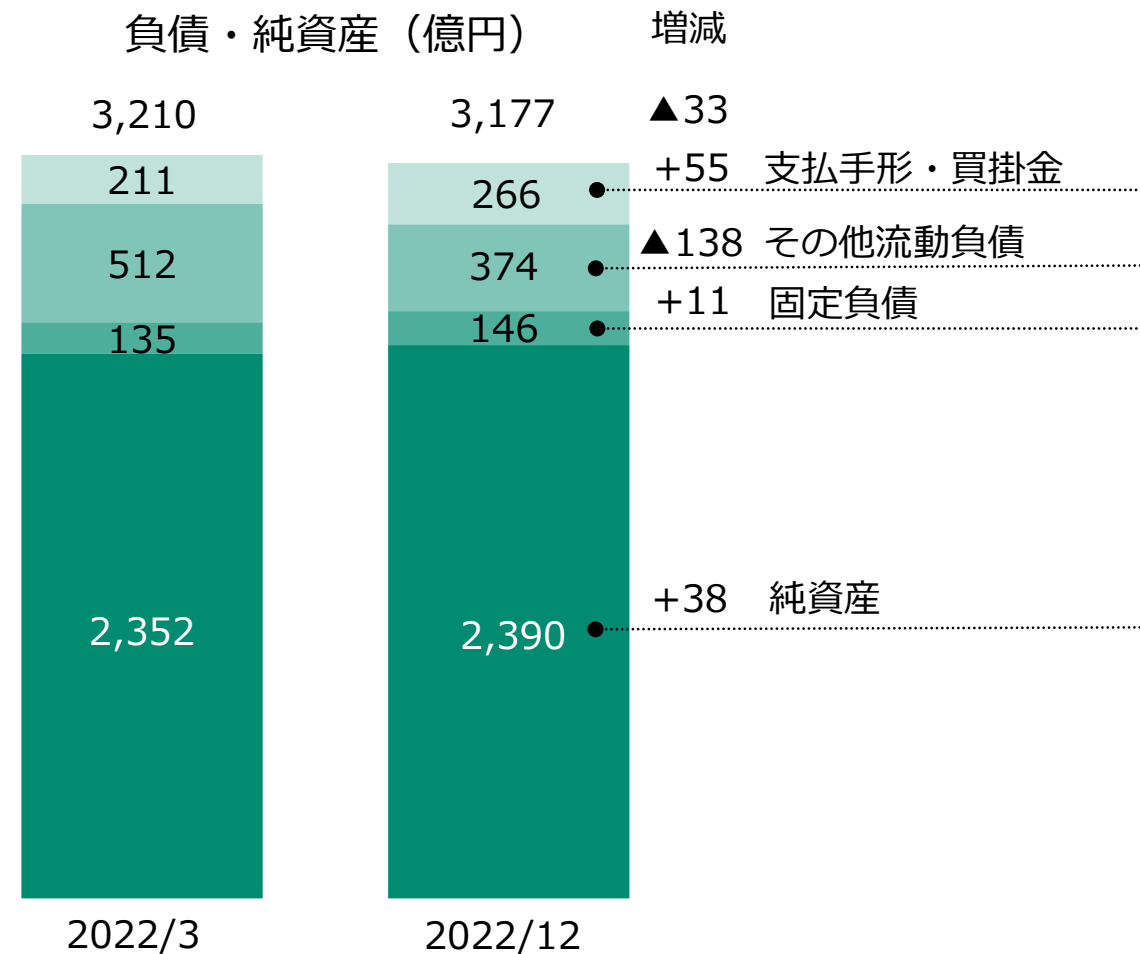
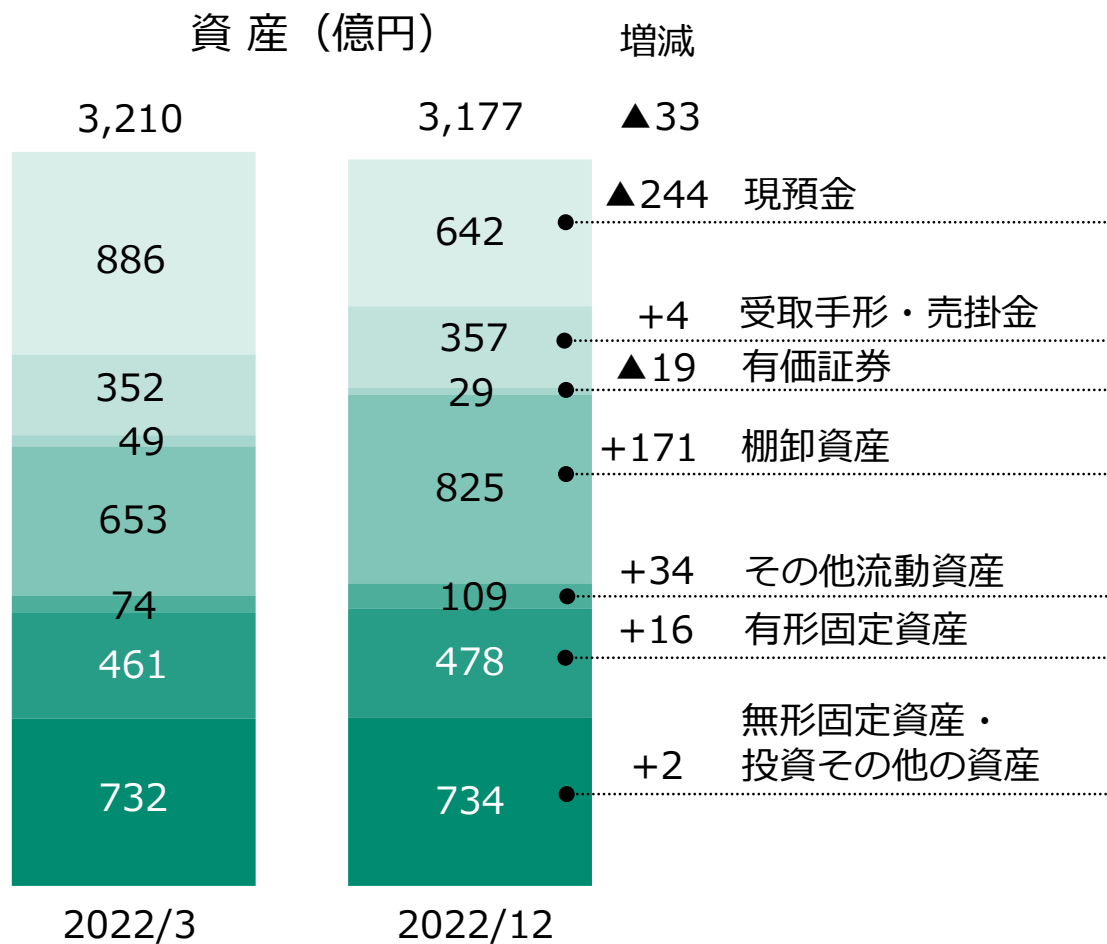
研究開発費／設備投資額・減価償却費

■ 研究開発費 (億円)
 — 売上高研究開発費率(%)

■ 設備投資額 (億円)
 ■ 減価償却費 (億円)



貸借対照表

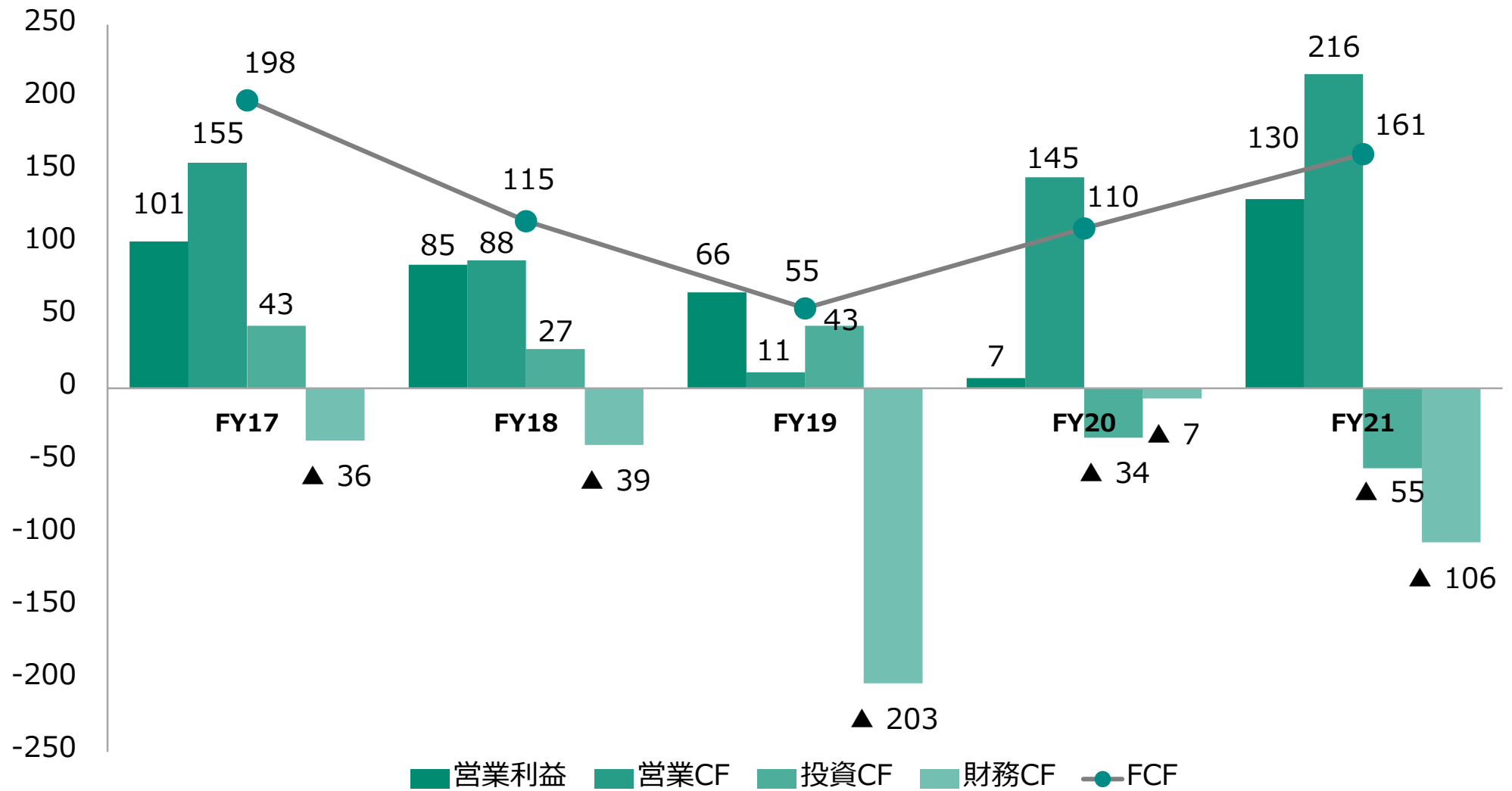


回転月数 (ヶ月)	2022/3	2022/12
売上債権	2.8	2.5
たな卸資産	5.0	5.2

自己資本比率 (%)	2022/3	2022/12
	73.2	75.2

キャッシュフロー推移

単位：億円



事業セグメント	主要事業・製品	製品例
光源事業	放電ランプ ハロゲンランプ 固体光源	 UVランプ  シネマ用 ランプ  データプロジェクター 用ランプ  OA用ランプ  固体光源 (LD/LED)  Care222 関連製品
光学装置事業	投影露光装置 ダイレクトイメージング露光装置 EUVマスク検査用EUV光源 保守サービス	 投影露光装置  ダイレクト イメージング露光装置  EUVマスク検査用 EUV光源 <small>(提供：TNO)</small>  光配向装置  液晶貼り合わせ用 紫外線照射装置
映像装置事業	デジタルシネマプロジェクター 一般映像用プロジェクター ディスプレイ 保守サービス	 デジタルシネマ プロジェクター  一般映像用 プロジェクター  ディスプレイ LEDウォール  映像周辺機器

- 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」をリニューアルしました。よりアクセスしやすく、ウシオの現在～未来を知っていただけるような構成に整理しました。
- 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように**IRメール配信サービス**を導入しました。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

Renewal Point

01

個人投資家の皆さま向けコーナーを新設

シンプルでわかりやすさを意識した構成にすることで、利便性の向上を図りました。



Renewal Point

02

コンテンツの新設

当社のビジネスをより身近に感じていただけるコンテンツを拡充しました。



Renewal Point

03

IRメール配信登録機能を追加

個人投資家の皆さまにもIRニュースをいち早くお知らせできるよう機能を追加しました。



IRメール配信登録は
こちらから



AI	Artificial Intelligence	人工知能
APMI	Actinic Patterned Mask Defect Inspection	EUV光を使ったマスク欠陥検査装置
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノがインターネット経由で通信すること
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

<本資料に関するお問い合わせ先>
ウシオ電機(株)
コーポレートコミュニケーション部 IR課
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>